

## 選挙支援 安倍氏差配

写真は毎日 8 日 1 面「蜜月 旧統一教会と自民党 上」。重要な記事なので、冒頭から途中まで紹介する。一長野県南部、天竜川が流れる秘境の山村、泰阜村。参院選から 1 カ月後の今年 8 月。新盆を迎えた「宮島家」には多くの人が集まった。昨年父を亡くした宮島喜文・元参院議員(71)も地元に戻り、お参りに訪れる来客に対応した。2016 年の参院選比例区で初当選した宮島氏だが、今年 7 月の参院選には出馬せず、1 期で引退した。16 年の選挙を手伝った支援者の一人と目が合うと、再会のあいさつもそこそこに、6 年前当選できた経緯をそっと打ち明けた。「『票ちょっと足らんかもしれんで』ということで、伊達さんが間に入って話をしてくれた」。「伊達さん」とは、当時自民党の参院幹事長だった伊達忠一氏。16 年参院選の直後に、参院議長に就任する大物だ。宮島氏とは、同じ臨床検査業界の代表という共通点があった。伊達氏が選挙支援で話を付けてくれた相手とは、当事現職だった安倍晋三元首相だった。当選後、宮島氏は伊達氏と同じ清和会(現安倍派)に所属した。新盆には、宮島氏の事務所職員だった男性も訪れた。その場で男性は、宮島氏から「前回の選挙では『世界平和連合』の支援を受けていた」と説明された。この話は、宮島氏が再選断念を決めた今春、宮島氏の元秘書からも聞かされていた。「前回支援してくれた『平和さん』がダメになったから、もう選挙はできない」。男性は当時、その団体のことを知らなかった。ネットで調べて初めて世界平和統一家庭連合(旧統一教会)の関連団体であることを知った。16 年の選挙では安倍氏の差配で旧統一教会の関連団体から支援を受けたが、今回は受けられないことになり出馬を断念した。新盆は、その構図を支援者や事務所関係者に告白する場となった。自民のあるベテラン秘書は「統一教会といえは、清和会のお家芸だった」と明かす。多くの自民党関係者の間では、教団側と最も深くつながっていたのは清和会であり、領袖の安倍氏だったという認識で一致する。昨年 9 月。安倍氏は、旧統一教会の関連団体「天宙平和連合」(UPF)が主催したイベントにビデオメッセージを寄せた。「朝鮮半島の平和的統一に向けて努力されている韓鶴子総裁に敬意を表します」。韓総裁は、統一教会を創設した故・文鮮明氏の妻で教団のトップ。元首相が、教団にお墨付きを与えたようにも受け取れた。安倍氏は「家庭の価値を強調する点を、高く評価します」とも語った。教団に家庭を壊された山上徹也容疑者はこのビデオの存在を知り、「旧統一教会とつながりがあると考えた。殺そうと決心した」と供述している。その点でも転機となる映像だった。



統一教会とのつながりが、きわめて深い安倍氏の国葬を強行するという。国葬は憲法に違反するだけでなく、再び旧統一教会に「お墨付き」を与えることになるのではないか。

(2022年9月9日)